

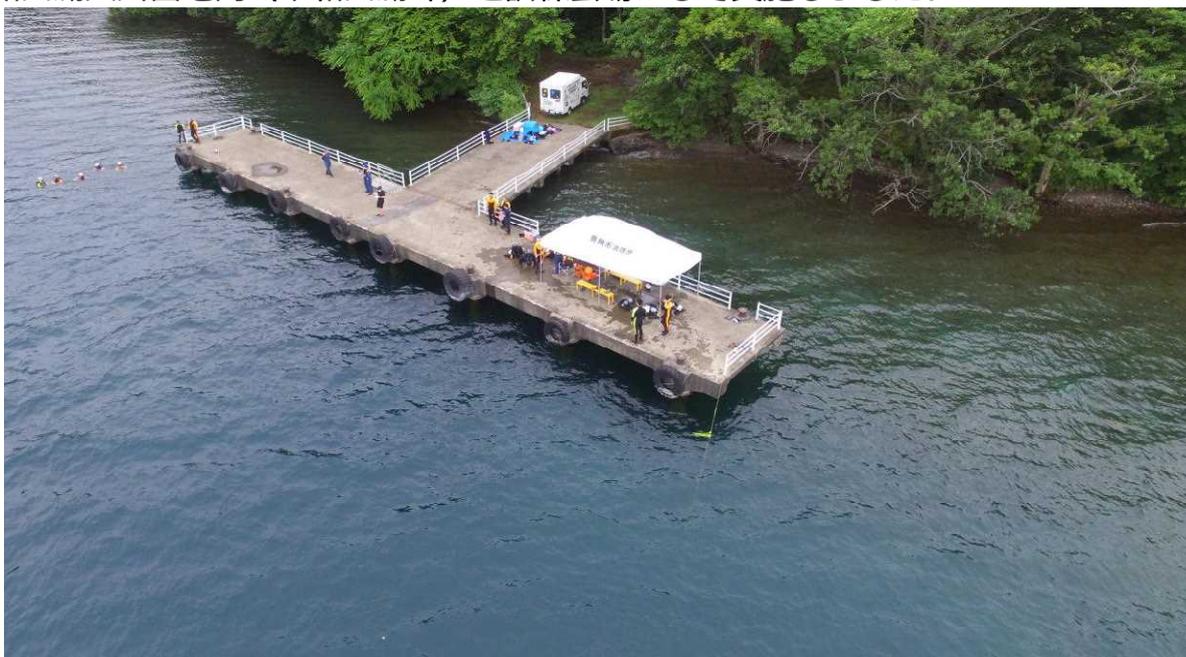


大館市消防本部と合同潜水救助訓練を実施しました。

令和3年7月12、13日の2日間にわたり、大館市消防本部との合同潜水救助訓練を実施しました。大館市消防本部から2日間で延べ29名、鹿角消防から延べ24名が参加し、隣接消防本部の連携強化及び現場対応能力の向上を図るという目的が達成でき、実りある訓練となりました。



十和田湖大川袋地内（十和田湖畔）を訓練会場にして実施しました。

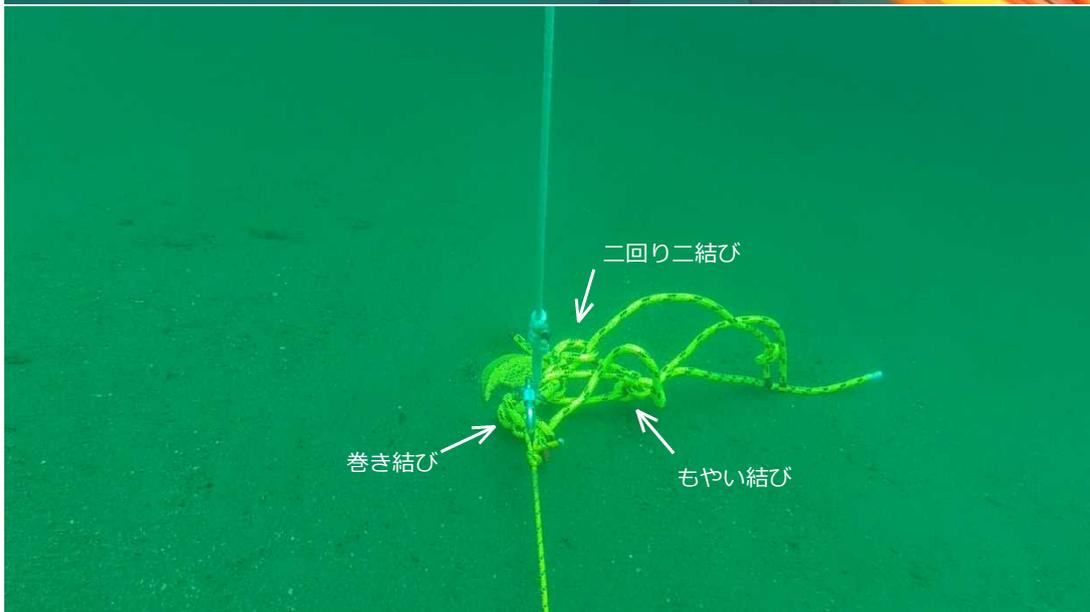
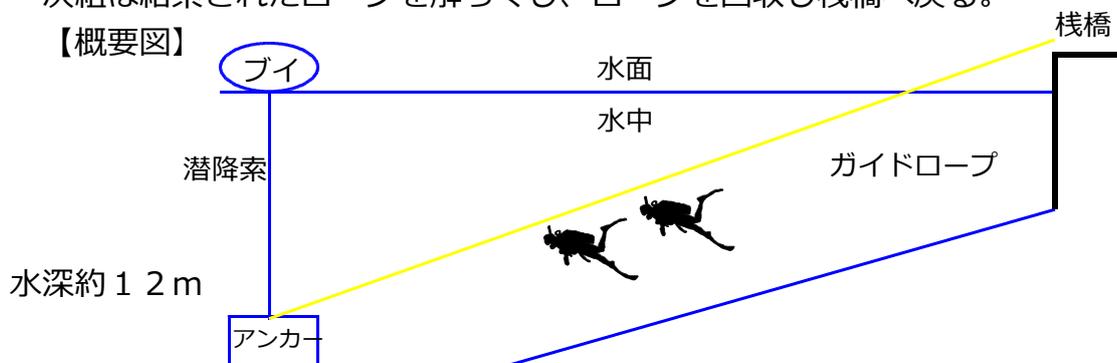


訓練内容の紹介

①水中検索訓練

- ・ 栈橋から沖に設定したアンカーまでガイドロープを伝い、水中を検索する。
- ・ アンカーまで到着したら携行したロープにて個々にもやい結び、巻き結び、二回り二結びを結び、栈橋まで戻る。
- ・ 次組は結索されたロープを解らくし、ロープを回収し栈橋へ戻る。

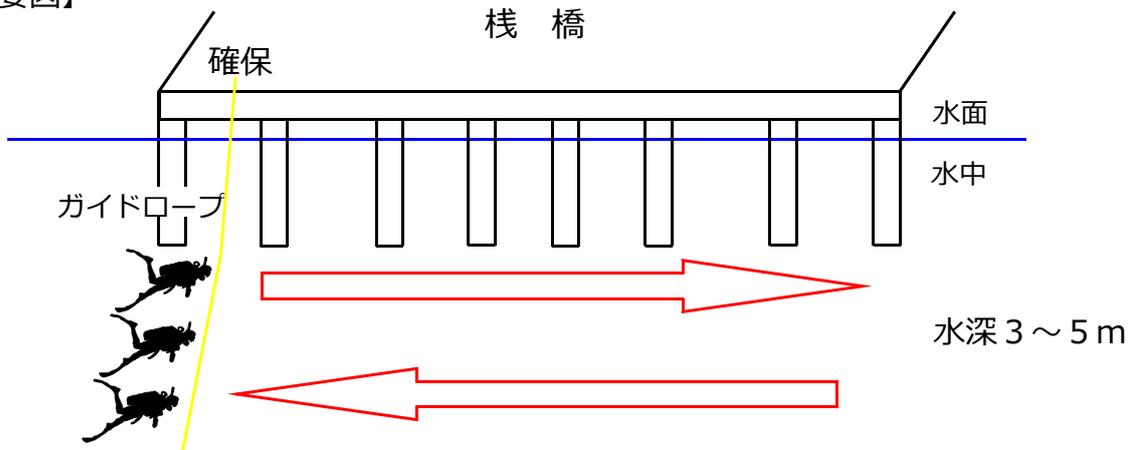
【概要図】



②平行検索訓練

- ・ 栈橋上にガイドロープを確保した隊員を配置し、栈橋に沿って平行に検索する。

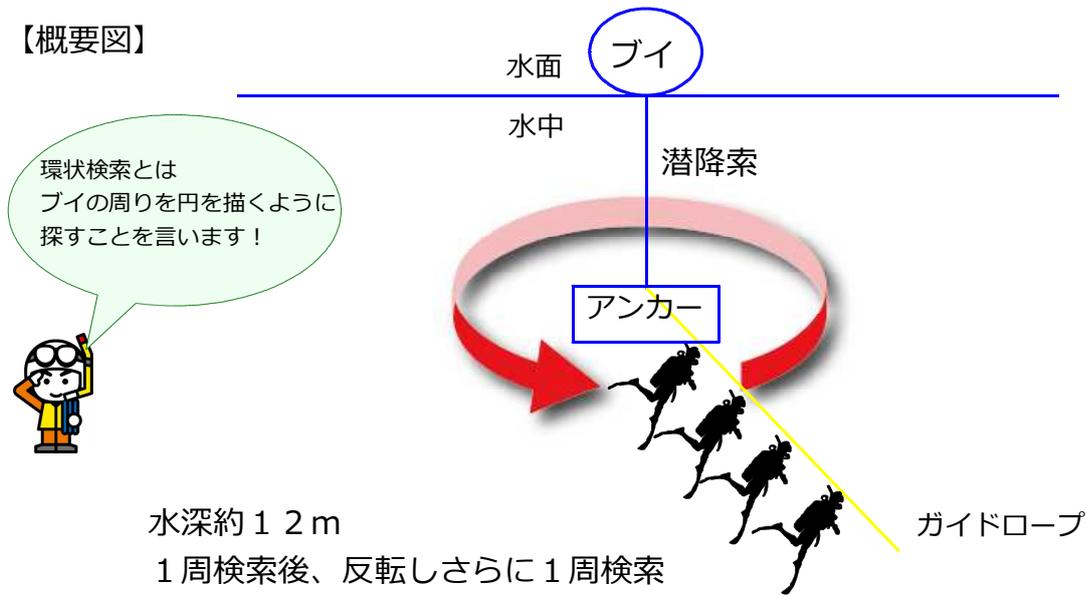
【概要図】



③実戦を想定した連携訓練

- 湖でカヌーが転覆して2名が落水し、行方がわからなくなったとの通報を想定して、大館市消防本部、鹿角広域行政組合消防本部が連携し水難救助訓練を実施する。
- 水没地点が限定されているため、環状検索にて^{かんじょうけんさく}捜索し、2名を引き揚げ、1名を大館消防ボートへ^{えいこう}収容。1名はフロートストレッチャーへ収容し、^{えいこう}栈橋まで潜水隊員が曳航し、地上まで搬送する。

【概要図】



事前に水中での合図を確認します。

大館消防ボートから入水します。
(バックロールエントリー)



環状検索ではコンパスを使用して検索します。



検索漏れを防ぐために380度検索します。



195度を起点にして
380度検索開始！



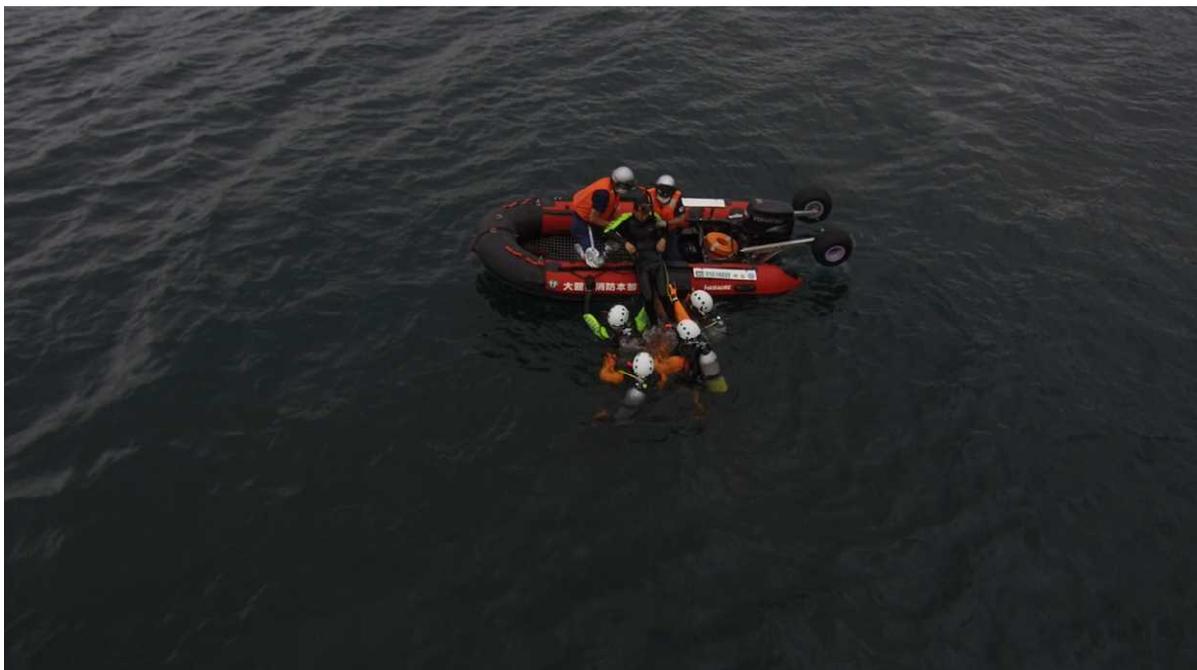
コンパス

アンカーに一番近い隊員がコンパスをガイドロープに合わせて検索角度を見ます。

フロートストレッチャーでの要救助者収容。



大館消防ボートでの要救助者収容。



④無人航空機操縦訓練

- ・上空からの要救助者検索、潜水隊員の安全管理を実施する。



特別な講習を受講した
操縦士により運用しています。



職員の皆様のご協力により、無事事故なく訓練を終了することができました。
これからも訓練を重ね、技術向上に努めていきます。